

国語 中学校 第2学年

個々の問題の出題の意図及びその正答率

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点				正答率
	大問	小問	通番		聞く能力	書く能力	読む能力	言語事項	
話すこと・聞くこと	一	一	1	話し手の意図や話の内容を正しく聞くことができる。	○				87.7
		二	2	話し手の説明の工夫を正しく聞くことができる。	○				59.7
		三	3	話し手が、相手の立場や考えをどのように大切にしているかを正しく聞くことができる。	○				85.7
		四	4	話し手の立場を理解しながら、話の内容を正しく聞くことができる。	○				95.5
読むこと	二	一	5	文章における語句の意味を正しく理解しながら読むことができる。			○		81.2
		二	6	指示語が指し示す内容を正しく理解しながら読むことができる。			○		78.5
		三	7	筆者の論理の展開を正しく理解しながら読むことができる。			○		78.3
		四	8	段落の要点を正しく理解しながら読むことができる。			○		73.9
		五	9	表現の特徴を正しく理解しながら読むことができる。			○		74.5
		六	10	文章の要旨を正しく理解しながら読むことができる。			○		68.8
言語事項	三	1	11	中学校2年生までに学習した漢字を正しく読むことができる。				○	95.8
		2	12					○	84.7
		3	13					○	93.3
		4	14					○	84.2
		5	15					○	95.0
	一	6	16	小学校で学習した漢字を正しく書くことができる。				○	75.9
		7	17					○	63.8
		8	18					○	64.6
		9	19					○	51.4
		10	20					○	58.8
二	1	21	文の意味をとらえて語句を正しく使うことができる。				○	56.0	
	2	22	慣用的な表現を正しく使うことができる。				○	43.6	
	3	23	ことわざを正しく理解している。				○	90.3	
	4	24	同訓異字を正しく使うことができる。				○	85.0	
三	1	25	文の成分を正しく理解している。				○	78.7	
	2	26	基本的な故事成語を正しく理解している。				○	87.9	
	3	27	敬語を正しく使うことができる。				○	74.5	
	4	28	古文の仮名遣いを正しく理解している。				○	86.9	
書くこと	四	一	29	資料からわかることを、主語・述語が整った文で書くことができる。		○			79.6
		二	30	資料をもとに自分の感想や考えをもち、具体的な例や体験を根拠にして、決められた字数で書くことができる。		○			63.2